

放課後等デイサービスガイドラインに基づいた自己評価等の公表について

<児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価結果について>

○評価表実施期間

平成 30 年 1 月 10 日～2 月 3 日

放課後等デイサービス	配布 31 名	未回答 11 名
(職員	配布 16 名	未回答 2 名)
児童発達支援	配布 1 名	未回答 1 名
(職員	配布 16 名	未回答 3 名)

○現在の取り組み○

平成 29 年度より、太田ステージの研修に参加して参りました。太田ステージを利用することにより、お子様の発達段階を客観的に捉え、一人ひとりに向きあった支援が提供できるように取り組みました。また、巡回指導を 1 年間実施し、言語聴覚士による発達障害のお子様に対する療育へのアドバイスを取り入れました。座位保持に補助となる足台の作成、日課としているスケジュール確認時には、お子様と一緒に確認ができるような働きかけなどを行なっています。ロッカーへは、誰のものか分かるように写真を貼るといった視覚的に理解しやすいよう室内の工夫を行なっています。

環境面においては、遊具の安全点検を実施し、滑り台を撤去、ブランコを新たに設置しました。トイレへスロップシンクを設置することにより、衛生管理の改善へ努めています。また、施設内・外は全面バリアフリーとなっているため、車椅子の方も安全に利用できます。

○改善目標○

現在、のぞみ通信にてデイサービスの活動を発信させて頂いておりますが、保護者の皆様とご家庭でのお悩みや情報共有を図るため、療育の方針、災害時の緊急対応などを説明する機会を設けていきたいと考えています。

療育活動に関しましては、太田ステージの検査結果を職員間で共有し、一人ひとりにあつた個別活動の充実を図るとともに、集団活動においては、公共交通機関の利用、買い物体験、児童館の利用といった社会体験の機会を増やし、自立へ向けた療育活動を実施していきます。